

修士論文（要旨）

2022年7月

中国における中高年者の疲労感に孫の世話が与える影響

指導 杉澤 秀博 教授

老年学研究科

老年学専攻

220J6903

劉 琳

Master's Thesis(Abstract)
July 2022

The influence of grandchild care on grandparents' fatigue in China

Lin Liu
220J6903

Master's Program in Gerontology
Graduate School of Gerontology
J. F. Oberlin University
Thesis Supervisor: Hidehiro Sugisawa

目次

<u>1</u>	<u>緒言</u>	1
<u>1.1</u>	<u>研究背景と意義</u>	1
<u>1.2</u>	<u>孫の世話が高齢者に与える影響に関する先行研究</u>	1
<u>1.3</u>	<u>先行研究の到達点</u>	2
<u>1.4</u>	<u>研究目的</u>	2
<u>1.5</u>	<u>仮説</u>	2
<u>2</u>	<u>方法</u>	3
<u>2.1</u>	<u>調査対象</u>	3
<u>2.2</u>	<u>データ収集方法</u>	3
<u>2.3</u>	<u>測定</u>	3
<u>2.4</u>	<u>統計解析法</u>	5
<u>2.5</u>	<u>倫理的配慮</u>	6
<u>3</u>	<u>結果</u>	6
<u>3.1</u>	<u>対象者の属性</u>	6
<u>3.2</u>	<u>重回帰分析の結果</u>	7
<u>4</u>	<u>考察</u>	9
	<u>参考文献</u>	I

1 緒言

1.1 研究背景と意義

孫の誕生は、高齢期の大きなライフイベントの一つである。祖父母としての立場は、直接的な子育ての責任のある親としての立場とは違って、心理的に余裕をもって子どもに接することができる¹⁾。また、これまでの子育て経験や知識・技術を活かした祖父母の支援は、若い親たちの育児における孤立やストレスを低減させるものとして期待されている¹⁾。他方、中国健康と養老追跡調査によると、高齢者が孫を世話している割合は、2011年、2013年、2015年、2018年のいずれも40%程度を占めている⁴⁾。

1.2 これまでの研究と本稿の課題

既存研究は以下のような問題点がある。第1には、世話への関与の高齢者に与える影響については、生活満足度などプラスの影響を評価している研究がほとんどであり、マイナスの影響を測定するような、たとえば孫の世話に伴う疲労感などに着目した研究がほとんどない（筆者がレビューした限りでは2本）。第2は、孫の世話への関与の程度が高齢者に与えるマイナスの影響に関する研究にしても、その影響は高齢者の孫の世話への意識や他の社会活動との重複などによって異なる可能性があるが、このような修飾要因を分析した研究はほとんどない。第3は、研究の対象者はほぼ女性であり、男性をも対象とし、性による関連要因の違いを分析した研究はほとんどない。

本研究の目的は、中国の高齢者を対象に、孫の世話が疲労感に与える影響を明らかにすることである。仮説は次の通りである。仮説1は孫の世話は高齢者の疲労感の増加に関連する。さらに、その影響は女性の方が男性より強い。仮説2は孫の世話とほかの役割が重複している高齢者の場合、疲労感が強くなる。仮説3は高齢者の育児観念と方法が若い世代と違う場合、孫の世話に伴う高齢者の疲労感が強くなる。仮説4は孫の世話のストレスが高いほど疲労感が強くなる。

2 方法

2.1 調査対象とデータ収集方法

中国浙江省江山市双塔街道に居住する中高年者（50歳以上）330人を対象とした。対象者の抽出は研究者個人のネットワークを利用し、50歳以上の男女330人を紹介してもらった。2022年3月6～31日に自記式調査票を訪問で配布・回収した（有効回収率は95.2%）。

2.2 分析項目

- 1) 従属変数：疲労感。
- 2) 独立変数：①孫の世話への関与度、②孫の世話への参加形態、③介護役割、④仕事役割、⑤育児観念と方法の差異、⑥孫の世話のストレス。
- 3) 調整変数：①年齢、②性別、③学歴、④老研式活動能力指標、⑤収入、⑥孫の年齢、⑦母親の就労、⑧世帯構成。

2.3 分析方法

仮説1については、まずは、従属変数として疲労感を、独立変数として孫の世話の有無、調整変数をモデルに投入し、重回帰分析を行ない、孫の世話の影響を評価した。次いで、孫の世話と性の交互作用項を回帰モデルに投入することで、孫の世話が疲労感に与える影響に性差があるか否かを評価した。

孫の世話への関与度が疲労感に与える効果に修飾要因が与える影響については、孫の世話に関与している人のみを取り上げ、独立変数として孫の世話への関与度、従属変数として疲労感を、修飾要因ごとに修飾要因、修飾要因と関与度との交互作用項、調整変数をモデルに投入し、重回帰分析を行った。分析には統計ソフト SPSS28.0 for Windows を用いた。

3 結果

男女ともに、孫の世話の有無による疲労感に有意な差は見られなかったことから、仮説1は検証されなかった。

すべての交互作用項目は疲労感に有意な影響が見られなかったことから、仮説2、3、4のいずれも支持されなかった。

4 考察

男女共に、孫の世話の有無による疲労感に有意な差は見られなかった理由としては、次のような2要因が考えられる。第1に高齢者の間における孫の世話の規範の影響である。このことが影響して高齢者が孫の世話を負担と感じる割合が低かった可能性がある。第2に、高齢者が孫の世話をすることで、子供世代との関係が良好になり³⁰⁾、また、高齢者に感謝することで³¹⁾、そのプラスの影響が負担感を軽減させることに貢献した可能性がある。

しかし、孫の世話をしている人に限定した分析では、関与度が疲労感を有意に高めるように作用していた。それは、すなわち、第1に孫の平均年齢が6歳以下とまだ目が離せない、手がかかかること、第2に加齢から身体機能を低下にも疲労が感じやすくなること¹⁸⁾、第3に、孫育ての内容が多いと生活が一変して生じる支障が負担となったこと³⁰⁾などが複合した影響ではないかと思われる。

すべての交互作用項目は疲労感に有意な影響が見られなかった理由としては、就労と介護への参加のいずれも単独では、疲労感を有意に軽減するように作用していた。すなわち、有意ではないものの、孫の世話をすることに対して介護や就労が二重負担となるよりも、むしろ、その役割を担うことが孫の世話による負担を軽減するという機能を持っていると解釈できる結果であった。

若い世代との育児観念の差異が孫の世話の負担感の増幅に影響しなかった理由としては、孫の世話を担う場合には、その違いを乗り越え孫の世話に伴う肯定的な影響を感じるからこそ役割を担うことを選択する。その結果として、有意な影響が観察されなかった可能性がある。世話ストレスと孫の世話の重複が負担感の増幅に影響しなかった理由については、世話ストレスは単独でも疲労感を増す影響があり、さらに孫の世話と世話ストレス

の相関が強いことから、世話ストレスが孫の世話と疲労感を媒介する要因であるとみた方が妥当と思われる。

本研究の限界と今後の課題については以下の通りである。第1に、本研究は横断研究であり、孫の世話と疲労感の因果関係を特定できてはいない。因果関係を特定するためには、パネル研究を通じて孫の世話を担当する前後での疲労感の変化を観察することが必要である。第2は、本研究では幸福感を分析モデルに位置づけていない問題がある。孫の世話は、直接的には疲労感の増加につながる可能性があるものの、他方、幸福感を高めることを通じて間接的に疲労感を低下させる可能性もある。このようなモデルの妥当性を検証することが必要である。第3は、本研究で仮説として取り上げた以外の修飾要因を探索することが必要である。

参考文献

- 1) 佐藤真一, 権藤恭之: 『よくわかる高齢者心理学』, ミネルヴァ書房, p148(2016).
- 2) 「二人っ子政策」導入も減少続く中国の出生人口その理由は? 東方新報, <https://www.afpbb.com/articles/-/3321453>(2021. 12. 15 アクセス)(2020) .
- 3) 孫怡: 中国都市部における祖父母との共同育児の現状と影響 (<https://www.blog.crn.or.jp/lab/08/32.html>) (2021. 12. 11 アクセス)(2019).
- 4) 中国健康与养老追迹调查, <http://charls.pku.edu.cn/index/zh-cn.html> (2021. 12. 26 アクセス)
- 5) 王垂迪: 隔代照料孫子女对中老年人心理健康的影響研究, 科学决策, 47-68(2018).
- 6) 吳静: 适度隔代照料对女性老年人心理健康的影響研究, 四川省社会科学院(2021).
- 7) 宋璐, 李亮, 李樹茁: 照料孫子女对農村老年人認知功能的影響, 社会学研究, 28:215-246(2013).
- 8) 全国の50~79歳の男女800名に聞いた「子育て世代ワーク・ライフ・バランスと“祖父母力”」, 第一生命保険相互会社 <https://www.dlri.co.jp/pdf/ld/01-14/news0806.pdf> (2021. 12. 25 アクセス) (2008).
- 9) Baydar N, Brooks-Gunn J: Profiles of Grandmothers Who Help Care for Their Grandchildren in the United States, *Family Relations*, 47(4):385-393(1998).
- 10) 郭嬋娟, 王曉蕾: 隔代扶養对老年人身心健康影響的研究進展, 中華現代介護雜誌, 25(3):383-387(2019).
- 11) Beach SR, Schulz R, Yee JL, et al: Negative and positive health effects of caring for a disabled spouse: longitudinal findings from the caregiver health effects study, *Psychology and aging*, 15(2):259-271(2000).
- 12) 宋璐, 馮雪: 隔代扶養: 以祖父母為視角的分析框架, 陝西師範大學學報(哲学社会科学版), 1:83-89(2018).
- 13) Pruchno RA: Raising grandchildren: The experiences of Black and White grandmothers, *The Gerontologist*, 39:209-221(1999).
- 14) Lee S, ScD, Colditz G, Berkman L, Kawachi I: Caregiving to Children and Grandchildren and Risk of Coronary Heart Disease in Women, *American Journal of Public Health*, 93(11):1939-1944(2003).
- 15) Musil C: Health, stress, coping, and social support in grandmother caregivers, *Health Care for Women International*, 19(5):441-455(1998).
- 16) 北村安樹子: 子育て世代のワーク・ライフ・バランスと祖父母力, <https://www.dlri.co.jp/pdf/ld/01-14/rp0805b.pdf>(2021. 12. 27 アクセス)(2008).
- 17) 石井邦子, 井出成美, 佐藤紀子, 他: 孫育児に参加する祖父母が持つ孫育児支援に対するニーズ, 千葉看護学会誌, 16(2):27-34(2011).
- 18) 笹田ひとみ, 伊田早苗, 森本桂, 他: 孫育てに関する祖父母の思い, 奈良県母性衛生学会雑誌, 23:18-21(2010).
- 19) 仲野宏子, 長弘千恵, 猪狩明日香, 他: 60歳代祖母による孫の世話の状況と疲労との関連, 日本地域看護学会誌, 19(1):14-23(2016).
- 20) 久保恭子, 田村毅: 祖母力を活用した育児支援のあり方の検討, 東京学芸大学紀要,

- 総合教育科学系, 62(2):257-261(2011).
- 21) 堀川尚子, 赤井由紀子:就労女性のダブルケアにおける介護負担感, 疲労感に影響する要因, 川崎医療福祉学会誌, 28(2):403-412(2019).
 - 22) 李連友, 李磊, 万叶:積極老齡化視角下老年人隔代扶養与社会参与的角色衝突及調適—基於社会角色理論的分析, 行政管理改革, 5:71-78(2021).
 - 23) 加藤道代, 津田千鶴:宮城県大和町における 0 歳児を持つ母親の育児ストレスに関わる要因の検討, 小児保健研究, 57(3):433-440(1998).
 - 24) 李冠儒:2823 例健康体験人群的疲労狀況及其与体験指標的相關性検討, 北京中医藥大学博士研究生学位論文(2013).
 - 25) Chalder T, Berelowitz G, Pawlikowska T, et al: Development of a fatigue scale. *Journal of Psychosomatic Research*, 37(2):147-153(1993).
 - 26) 陳維清, 叶曉青:大学学生心理压力与慢性疲労綜合症, 疾病控制雜誌, 10(4):369-372(2006).
 - 27) Wong WS, Fielding R: Construct validity of the Chinese version of the Chalder fatigue scale in a Chinese community sample, *Journal of Psychosomatic Research*, 68:89-93(2010).
 - 28) 宮中文子, 松岡知子, 岩脇陽子, 他:祖母の子育て参加の実態について(第 1 報)—子育て参加の内容—. *小児保健研究*, 55(1):82-87(1996).
 - 29) 古谷野亘:地域老人における活動能力の測定, *日本公衆衛生雜誌*, 34(3):109-113(1987).
 - 30) 津間文子:祖母の担う「孫育て」が祖母自身に及ぼす影響—子ども世代に対する子育て支援—, *母性衛生*, 53(4):573-582(2013).
 - 31) 九州家政学総合研究会:『高齢者生活文化の創造—人生 100 年を生きる—』, 九州大学出版会, p121(1995).